

CGU REAL TITLES



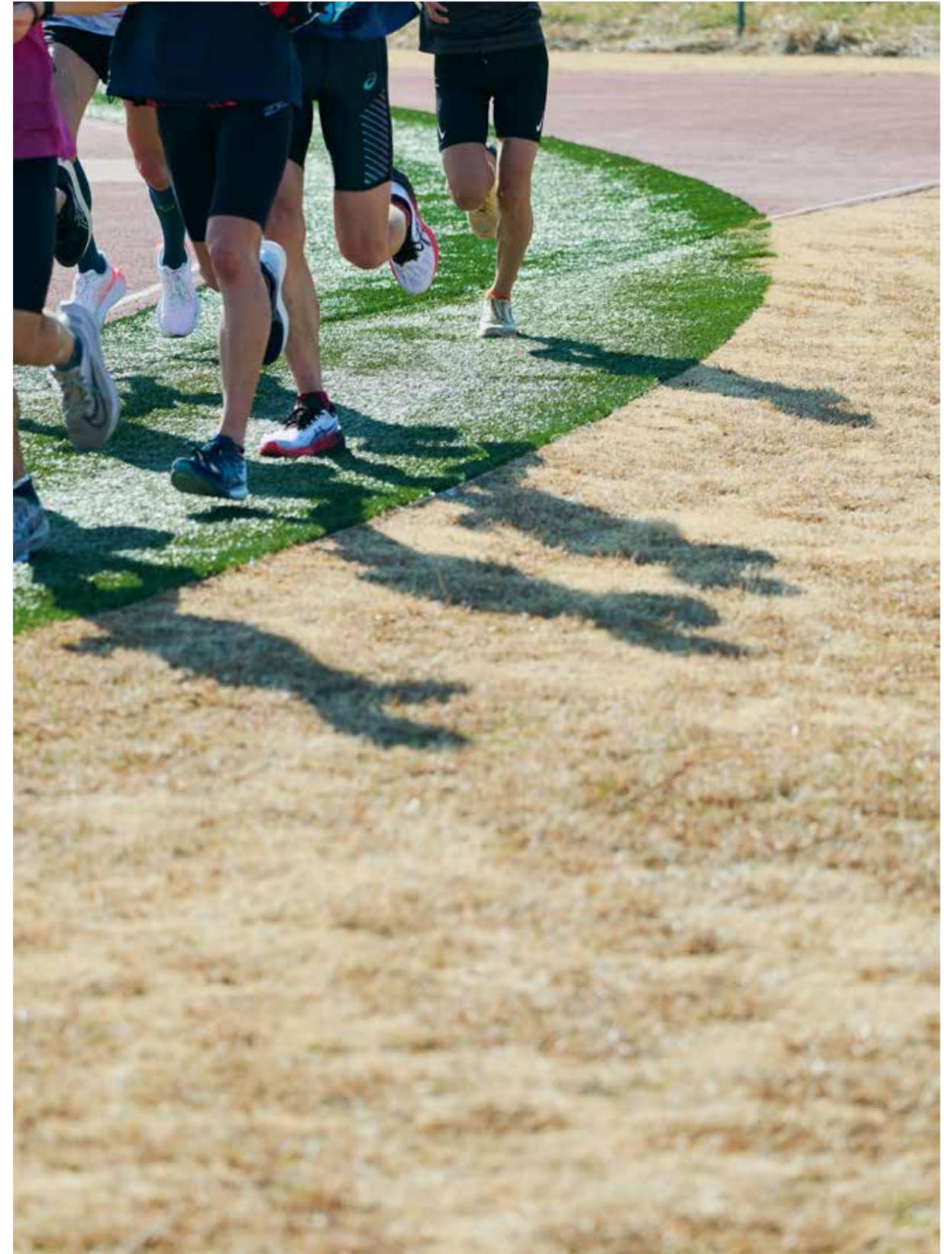
W.A.G!

**Tune In
magazine**

中央学院大学 学報 | No.145 |

To interpret myself

めざすものがあるなら、日々小さなことでも積み重ねていけば必ず大きな力になります。ただ、毎日の繰り返しがルーティンを感じるなら、いまやっていること、やりたいことを見つめ直してみましょう。あらためておもしろさに気づいたり、新しい発見が見つかるはずですよ。



発行日: 2024年3月6日 発行者: 中央学院大学
〒270-1196 千葉県我孫子市久寺家451 Tel: 04-7183-6501 URL: <https://www.cgu.ac.jp/>
Text: Akiko Yamamoto (P02-P10)
Photo: Mina Soma (COVER, BACK COVER, P06-P10), Kentaro Oshio (P02-P05)
Creative Direction: Mo-Green Co., Ltd.



今後のより良い広報誌づくりのため、みなさまから本誌に関するご意見ご感想などをお寄せください。
※アンケートの回答は統計的に処理され、個人情報が公表されることはありません。
また、調査データをアンケートの目的以外に利用することはありません。



この製品は、FSC® 認証材および管理原材料から作られています。





Q.1 この大学の商学部の特徴は？

A.1 商だけでなく**経済も経営も学べます。** → 詳細はAnswer A.1へ

Q.2 中野ゼミの推しポイントは何？

A.2

「大人たちの金曜日」です。

→ 詳細はAnswer A.2へ

Q.3 先生はどんな学生でしたか？

A.3 **やらされる勉強が大嫌い**でした。 → 詳細はAnswer A.3へ

My proud department!

01

商学部

少人数制で
多様な学びをサポート

Teacher

中野健秀先生

Profile

東京芸大教育学部卒業、京都大学大学院博士後期課程単位取得退学。スペインリーグ、アトレティコ・マドリードのファン。

My proud department!

特集

やっぱり！

わたしの学部が一番おもしろい。

なにかと忙しい大学生活。勉強がタスク化してやりがいや楽しさを見出せない…なんてこと、ありませんか？ いま一度新鮮な気持ちで学業と向き合うべく、各学部を代表して3人の先生に「学部自慢」と「得られる学び」を伺いました。

03
現代
教養学部



櫻間瑞希先生

02
法学部



木村健登先生

01
商学部



中野健秀先生

Question

知られざる学部ごとのおもしろさを引き出すために、先生にたくさんの質問をぶつけました。各ページでは、より魅力的だった回答をご紹介します！

- 中央学院大学の自学部の特徴は？ ●自学部の「中央学院大学らしい」ところを教えてください。
- ゼミでは具体的にどんな授業をしていますか？ ●自学部の学びの「ここがスゴイ！」を一言で。
- 自学部の学びは、社会でどのように役立ちますか？ ●講義やゼミで、先生が大切にしていることは？ ●先生のゼミの推しポイントは？ ●先生のゼミで2024年度にやりたいと思っていることを教えてください。
- 先生なら、いまどのゼミに入りたいですか？ ●学生時代はどんな学生でしたか？ ●学生時代にやっておいてよかったことはありますか？ ●ご自身の研究について、興味を持ったきっかけを教えてください。
- 中央学院大学に赴任したきっかけを教えてください。
- リフレッシュできる趣味などはありますか？ ●仕事をするうえでのモットーを教えてください。

Students voice

年4回ほど週刊誌の『文藝春秋』を読んでレジュメをつくるタスクがあり、officeもソフトだけでなく、動画作成のノウハウを学べます。夏休みには青春18きっぷを使って一人旅する企画も。自分でテーマを考えて行き先からホテル予約、地域の人にインタビューのアポ入れなどすべて自分で行うというタスクがあり、フィールドワークで学ぶ楽しさを知ることができました。【3年生 高濱爽明さん(屋久島おおぞら高校出身)】

中野ゼミに入ってよかったことは、縦にも横にもつながりができたこと。自分とは人とコミュニケーションをとるのが苦手なほうなのですが、ゼミでは2~4年が一緒に活動するうえでの学年との関係ができたのはうれしかったです。課題は多い大変な面もたくさんありますが、自分の知らなかったことに触れられて新しい発見があるので、学びのモチベーションにもなっています。【2年生 西島寛結さん(千葉県立船橋啓明高校出身)】

Answer

A.3

小学生のときに「本当に自分の好きなことを勉強しよう」という先生に出会ったこともあって、テスト勉強や宿題、高校受験といった「やらされる」勉強が本当に嫌いでした。私は大学を2つ出ているのですが、1つ目の夜間の大学に出たときに初めて自分の意思で勉強しようと思えて1年かけて勉強し、2つ目の大学に行きました。そこからは勉強が面白くなって大学院にも行きました。その感覚があるので、勉強のやりがいが見出せなくなっている学生がいたらいつでもサポートしますよ。自分の興味関心のあるテーマを育ててほしいですね。

A.2

「大人たちの金曜日」とは、さまざまな業界で活躍する社会人(大半は私の知人や学生時代からの友人たち)を招いて現在の仕事内容やキャリアをざっくばらんに話してもらう会です。いまは1~2カ月に一度のペースで開催しています。ゲストには学生に読んでほしい本を1冊推薦してもらっていて、全員に必ず読んでもらうのですが、そこからテーマを決めてディスカッションをすることもあります。現役の社会人の話を聞く貴重な機会ですし、読書の習慣もつくので3年間トータルで考えると結構な経験値になるのではないのでしょうか。

A.1

大学によっては商学部、経済学部、経営学部に分かれているところも多いですが、本学ではすべて商学部内で学ぶので、多彩な学びができるのが特徴の一つ。1年生から基礎知識を学ぶプロゼミナールがスタートするので、自分の興味のある分野を探しやすいし、少人数制なのでアットホームな雰囲気の中で学べます。うちのゼミでは2~4年生が合同で活動するので同学年だけでなく縦のつながりができるのも学生にとっていいところ。毎年OBを呼んでお祭りをしているので将来につながる仲間ができることも大きな財産になると思います。



Q.3 「やりたいこと」がありません……。

A.3 **絶対にやりたいこと**はないことはありますか？

→ 詳細は Answer A.3 へ

Q.1 スバリ、現代教養学部のいいところは？

A.1 **全員、ゼミに属し、卒論を書くところ**です。

→ 詳細は Answer A.1 へ

Q.2 現代教養学部の学びはどう役立ちますか？

A.2 **複雑怪奇な世の中を** 一歩引いて見られます。

→ 詳細は Answer A.2 へ

Q.4 学生時代にやっておいてよかったことは？

A.4 **どこへは行かない** 出かけること。

→ 詳細は Answer A.4 へ

My proud department!

03

現代教養学部

人を知りたい！を原点に 人生を楽しもう

Teacher

櫻間瑞希先生

Profile

筑波大学人文・化学系 群人文学類卒業、同大学大学院博士後期課程修了。オオサンショウウオが好きすぎる。

My proud department!

02

法学部

法の本質に 触れられる「法学」

Teacher

木村健登先生

Profile

神戸大学法学部卒業後、同大学大学院博士後期課程修了。日々のリフレッシュ方法は料理。得意料理はパスタ。

A.3

Q.3 具体的にどんな授業をしているの？

保険の約款の読み比べなんかも。

→ 詳細は Answer A.3 へ

Q.1 法学って何が面白いの？

A.1 **自分ごとと捉え**ると面白さ倍増。

→ 詳細は Answer A.1 へ

Q.4 先生なら、いまどのゼミに入りたい？

A.4

坂井亮太先生の「熟議民主主義」が面白そう！

→ 詳細は Answer A.4 へ

Q.2 先生のゼミで大切にしていることは？

A.2 **リサーチスキル、プレゼンスキル**です。

→ 詳細は Answer A.2 へ

Answer

Answer

A.4

私自身がやってよかったなと思うことは、ここではないどこかに出かけることです。旅はもちろん、本の中でもいい。いまあなたが「そこ」ではないどこかに出かけると、いまとは違う自分に会えることができます。読書や旅に出かけたあとの自分は、ものの見方や感じ方、何もかもが違ってはいます。できれば「この本はこれからの人生で読んで読まないだろう」という本の中に行ってみてほしい。学内で行ったことがない場所や食べたことのない学食でもいいから、初めてのことを見つけて面白がると、人生がちょっと楽しくなります。

A.3

興味があることや、何をしたいときに一番ワクワクすることを考えて「やりたいこと」が見えてくるといい。ですが、もし何もなければ「絶対にやりたいこと」をリストアップしましょう。やりたくないことを明確にして排除していくと、自分の興味や好きなことが見えてくることもあります。私は人間が好きなので、多様な人と出会える大学教員の仕事は楽しいです。毎日楽しく仕事をやる大人の姿を見てもらえるのも、現代教養学部のメリットでしょうか。私が絶対にやりたいことは料理！ 家では夫にお願いしています。

A.2

これから社会に出ていくと、正解のないことや複雑なこと、意味のわからない人間関係などがたくさんあります。そのメカニズムを一歩引いて見る技術は人文社会系の得意とするところで、そういったものの見方を獲得できる学部です。もし大人たちが「何がなんでも世の中の役に立つことをしなさい」と言ってきたら、まずはその言葉を疑ったほうがいい。疑わずに従うばかりでは、自分の可能性を狭めることもあります。好きなことをやっていたら可能性が見えてくるし、やり続ければ、少なくとも自分の人生の役に立ちますからね。

A.1

他の学部は絶対ではないですが、うちの学部は必ずゼミに属し、卒論を書く必要があります。大変ですが、友達ができるし、みんなで一緒に何かをやるという経験ができます。サークルでもいいけど、じっくりと勉強で成し遂げるといった経験は間違いなくゼミならではの経験です。私のゼミのテーマは文化人類学ですが、人間についてのことならなんでもOKです。人間のやることなすことすべてが研究対象になります。自分の好きなこと、興味のあることを突き詰めていってほしいなと思うので、その面白さを知ってもらえるといいですね。

A.4

いまの民主主義は、多数決へのアンチテーゼもあって、無作為に抽出された人間がいるいろいろな価値観をもって議論する熟議民主主義（くじ引き民主主義とも言われる）への関心が強まっています。こういった政治の熟議民主主義の意思決定の手法を、会社組織などにも応用できないかという考えも出てきています。その辺りは私自身の研究にもつながるので、坂井亮太先生の「熟議民主主義」の実践にはずっと興味があります。法学部には若手の先生方も多く研究活動も盛んなので、自分の興味と関連づけてゼミや授業を選ぶのもおすすめです。

A.3

使わずに一生を終えられる人はいないのに、法学部ではほぼ扱わないのが保険です。それもあって私のゼミでは保険の約款を読む授業を行っています。そもそも保険って何？ということから、独身で生命保険の死亡保障は必要か、いわゆる大手とネット保険の保障内容の違いは、などなど。法学部のゼミという形式は整えつつ、できるだけ将来勉強してよかったと思うことを授業で扱いたいと考えています。実際、自動車関係に進んだOBから、「保険募集人試験を受けるときに、授業でやった内容が役立った」と連絡もらったこともあります。

A.2

正しいソースにアクセスして徹底的に調べること、そして「あなたの報告に興味も知識もない人に聞かせる」ためのプレゼン力を重視しています。具体的にはインターネットの情報でまとめることがなぜNGかを説明し、新聞や判例のデータベースなど活用できる出典の使い方や「結論を先に伝える」といったテクニックを伝えます。そうすると1年くらいで力もついてきます。「名探偵コナン」好きの学生は、法律違反と思われるアニメのシーンをピックアップして何が違反かを紹介。熱量が高く、みんな聞き入っていました。

A.1

法を学ぶことは、ルールの作り方と使い方を学ぶことだと思っています。何か達成したい目標や、反対にこうなるとほしくないものがある、その方向に導くために「道具として活用する」のが法律の本質です。いまあるルールも、いろいろな立場の人が複数の選択肢から総合的に判断して「いちばんマシ」だと思っただけのもの。100点満点の正解はないし、時代や環境によって変化していくものです。そのため、どこに着地させるか話し合うプロセスが非常に大切。ルールを「守る」だけでなく「作る」が自分事になると法学がより面白くなります。

Welco me to Abiko F

Special

4年ぶりの
一般公開!
あびこ祭徹

2023年10月

4年ぶりの一般公開で開催された「第55回

法学部

「指紋採取」「血痕発見」「足跡鑑定」「逮捕状請求」など科学捜査や犯人逮捕の体験ができる「CGU大捜査線」企画は、清水正博先生によるもの。参加者は、実際の捜査でも使われる薬品などを用いた指紋採取や、シートを使った足跡採取、血痕と思われるものが本当に血液かどうかを調べる「ルミノール検査法」などを体験した。まるで警察の科学捜査班になったような本格的な内容に、子どもも大人も興味津々。

商学を学んで
将来は起業家に?

商学部

増尾賢一先生、日隈信夫先生によるマネジメントゲーム体験企画。授業でも使われるこのゲームは一人ひとりが社長になって会社を経営し、商品の企画・開発・販売・会計・決算というビジネスサイクルを回しながら成果を競うゲーム。経営の擬似体験を通してマネジメント能力を身につけることができる。あびこ祭ではルールを簡略化して高校生でも参加しやすい内容に。来場者は、商学部ならではの企画を楽しんだ。

この中に犯人の足跡があるかも!?

「お子さんを連れてご家族がたくさん来てくれてうれしかったです」

「野戦研究部は自前の戦闘服に身を包んで射的コーナーを開催!」

LEARN

アカデミック企画

各学部の学びを楽しく体験できるアカデミック企画も開催されました。

現代教養学部

林健一先生のゼミによる特別企画は、「外来種問題を学ぼう!」。我孫子市の手賀沼に繁殖する外来植物ナガエツルノゲイトウの駆除など地域での活動や、外来種問題の概要を紹介するパネル展示を行った。パネルは林ゼミの男子学生による力作。教室内では子ども向け企画として射的ゲームも実施し、ゲームを楽しむのと同時に、「外来種は駆除すればそれでいいのか」といった問題を知ってもらうきっかけ作りを工夫していた。

外来種問題の真の原因を探そう

現代教養学部

「6号館でアニメのイラストなどさまざまな創作物を展示しました」

「軽音楽部のPRをお手伝い。子どもたちにはお菓子のプレゼントも」

「仮装姿もちんぷら」

射的で非日常を体験

エアガンを使った射的

「お菓子さんを連れてご家族がたくさん来てくれてうれしかったです」

INTERVIEW

実行委員長に聞きました

あびこ祭を終えて

現代教養学部3年生 末吉優翔さん
(茨城県立牛久高校出身)

第55回あびこ祭は4年ぶりの一般公開だったので、まずは地域の方に知ってもらうために、地域のイベントなどに積極的に参加したり、駅前でチラシ配りを行ったりして、地元の方への周知を心がけました。あびこ祭ではお子さん向けの企画も多いので、ファミリーや年配の方など地域の方にたくさん来場いただけたのはうれしかったです。

僕自身は、委員長の経験で2つの力があったと思います。1つ目は問題解決力。何が問題で、何を解決すべきか、そのために準備すべきことなどを素早く判断できるようにしました。2つ目はコミュニケーション力。地域のお祭りの会議に呼んでもらって運営のノウハウを教えていただくなど、コミュニケーションがうまくいっていたから協力を得られる場面がありました。こういった力はフィールドワークだからこその身につけられるもの。次年度のあびこ祭実行委員会にも多くの学生が参加してくれることを期待しています!

report me to estival!

28日(土)、29日(日)、
あびこ祭の様子を詳しくお届けします!

Let's Dancing!

2024のステージも見に来てね

LOOK

ステージ企画

メインステージではあびこ祭を華やかに彩る舞台に注目。

2日間を通して大盛況!

正門を入った正面に設置されたメインステージでは、お笑い芸人のZAZYやスクールゾーン、蛙亭によるお笑いライブ(28日)や、現役大学生のシンガーソングライター富岡愛さんのスペシャルライブ(29日)、吹奏楽団や中央学院高校による演奏、チアリーディング部やダンスサークル「NEO ROXs」、あびこカップダンスキッズによるダンスパフォーマンスなどが行われた。総司会はテレビなどでも活躍中の高井理江さん。スムーズな進行と出演者インタビューで多めに盛り上がった。

(上) NEO ROXsによるダンスパフォーマンス。
(右) 高度なスタuntsを披露するチアリーディング部。



PLAY

展示・体験企画

キャンパスの屋内外で40以上の展示や体験企画を実施。

地域全体のお祭りのようなコンテンツ

キャンパスをフルに使って行われたあびこ祭。屋外では、ふれあい動物園やゴルフ部によるスナックゴルフ体験など親子連れで楽しめる体験企画が多く開催された。パトカーや白バイ、消防車と記念撮影ができる毎年大人気のイベントは今年も実施。子どもだけでなく学生や大人も白バイにまたがって写真を撮る姿が見られた。屋内では、文化部による展示やアクセサリーをつくるワークショップを数多く開催。地域との深いかかわりが垣間見えるコンテンツが勢揃い。

モダンな茶室で
盆略点前を体験

「お菓子さんを連れてご家族がたくさん来てくれてうれしかったです」

「野戦研究部は自前の戦闘服に身を包んで射的コーナーを開催!」

「仮装姿もちんぷら」

射的で非日常を体験

エアガンを使った射的

「お菓子さんを連れてご家族がたくさん来てくれてうれしかったです」

モダンな茶室で盆略点前を体験

EAT

グルメ企画

学生団体だけでなく我孫子市内の人気店がキャンパスに集結!

売り切れ続出のグルメ屋台

チョコバナナにフランクフルト、チュロス、フライドポテト、ペビーカステラ、焼き鳥といったお祭りの定番グルメから中華風お好み焼きやヤンニョムチキン、ジビエ(熊肉・いのしし肉)の味噌汁まで! 学生による飲食店は多国籍なラインナップ。来場者投票によるグルメコンテストも行われた。我孫子市内の人気店も出店しており、みんな大好き「たくみ家」のラーメンや「弥生軒」のそば、「ハリオン」のカレーのほか農産物直売所もオープンし、賑わいを見せていた。

フランクフルト
いかがですか~

Try eat!



日々の練習はもちろん、強化合宿のなかで選手一人ひとりのレベルアップとチームの課題克服に選手・主務・監督・コーチが一体となって取り組んでいる。

Have a Talk.

箱根駅伝の常連校として知られる、伝統ある駅伝部。新旧キャプテンを含め5人の主要メンバーに話を伺いました。

教えてくれたのは

中央学院大学
駅伝部メンバー

左から) ●工藤巧夢さん/法学部3年生/栃木県立那須拓陽高校出身 ●吉田礼志さん/法学部3年生/拓殖大学紅陵高校出身 ●飯塚達也さん/法学部4年生/兵庫県立東播磨高校出身 ●近田陽路さん/法学部2年生/豊川高校出身 ●安達奈央さん/法学部3年生/大分県立鶴崎工業高校出身



お互いを尊重する 伸び伸びとした 雰囲気と 強い個人力が特徴。

駅伝部のカラー。

2024年1月2日・3日に行われた箱根駅伝(第100回東京箱根間往復大学駅伝競走)で23回目の出場を果たした駅伝部。結果は、23チーム中総合19位。すでに24回目の出場に向け、動き始めているようです。

「1月の箱根駅伝を振り返って感想を教えてください。」

飯塚 僕は箱根駅伝を走ることが目標に入部しましたが、3年生まで走ることができなかったため、4年生の今年、10区を走ることができて本当に嬉しかったです。反省点はいろいろありますが、悔いなく走れました。

工藤 自分は7区を走らせてもらいました。監督からは6区と7区でシード圏内を目指すという指示がありました。それが実現できなかった。順位は2つ上げたのでまずまずでしたが、来年は得意な下りをいかにして6区を走り、区間賞を狙いたいと思っています。

近田 今年は9区を走りましたが、いままで一番情けない走りだなによりタスキを10区の飯塚さんにつなげなかったことが悔しかったです。その悔しさを必ず次にいかしていきたいです。

安達 僕は主務として監督と共に運営管理車に乗せていただき選手の走る姿を間近で見られました。工藤が言うように6区の時点でシード圏内に滑り込めなかったことは、後半厳しい展開になった要因になったと思います。また、他大学の選手は体が引き締まっています。

上半身も下半身も相当走り込みをしている体に見えたので、練習メニューもブラッシュアップする必要があると感じました。

吉田 僕は1年生のときに走って以来、2年ぶりに2区を走りました。2区は本当に難しく上りもきついコース。走りには自信がありませんが、唯一上りに不安があり、当日はその上りで失速してしまつたので、できることなら次は1区か3区を走りたいですね。

「花の2区」(鶴見↓戸塚の23.1km)といわれますが?

吉田 とてもテクニカルなコースで、12kmを過ぎたあたりから上りはじめ、最後の1kmに「戸塚の壁」と言われるきつい坂があります。それが最後の最後にくるので、上りが強いだけでなく精神的にタフでないと走れないし、なにより競技力が必要。自分には苦手上りを押し切れるほどのパワーがなかったの、まだまだだと感じました。

飯塚 こんな風に言っています。吉田はエースなので来年も2区を走りますよ(笑)。

部活動を通して、一番成長したと思う点は?

安達 2年生のときにアキレス腱の怪我で選手を続けられなくなり、主務の役割をいただきました。失敗の許されない仕事が多く、例えば、箱根駅伝のエントリー作業では、番号を間違えると選手が走れなくなってしまう。主務の経験を通して、何をすることも緊張感と責任感を持って行動できるよう

になったと思います。

工藤 自分はこれまで協調性が皆無でしたが、寮生活によってみんなと協力しようという意識が芽生え、人の意見を受け入れられるようになったことは大きな成長です。

近田 僕は小学1年生から陸上をやっていて、何事も最後までやってみる、諦めないという我慢強さを身につけられたと思います。陸上によって人格形成されているところがあるので、逆に陸上のない人生がどんなものかわからないところはあります。

飯塚 僕は我慢強くなりました。走りたくない日や辛いときもありますが、いざやるとなるときっちり練習をこなす。欲を捨てて自分を律することができるようになったのは、競技をやっていたからだと思います。あとは、キャプテンを務めることでみんなの前で話す機会も多くなり、「コミュニケーション力」が上がりました。監督と選手の橋渡し役で、伝え方を考えながら噛み砕いて話をする経験は非常に貴重でした。

最後に、今年の目標を聞かせてください。

吉田 新チームとしてはまず、6月の全日本大学駅伝関東学連推薦校選考会でダントツのトップ通過を狙います。その次は、箱根駅伝予選会。強豪校も参加しますが、中でもトップ通過が目標です。箱根の大会当日は、シード権獲得はもちろん、総合5位以内をめざして走ります。

Data: 1966年創部。92年に就任した川崎勇二監督のもと、94年に箱根駅伝初出場。選手の育成に長けた名物監督として知られる。歴代最高成績は第84回大会の総合3位。

CLUB NEWS

2023年度に活躍したクラブの
主な大会結果を報告します。

硬式野球部



- 千葉県大学野球連盟1部春季リーグ戦……………3位
- 千葉県大学野球連盟1部秋季リーグ戦……………2位
- 横浜市長杯争奪 第19回関東地区大学野球選手権大会…………… 出場

バレーボール部



- 春季関東大学男子2部バレーボールリーグ戦……………6位
- 秋季関東大学男子2部バレーボールリーグ戦…………… 10位
- 春季関東大学女子3部バレーボールリーグ戦……………6位
- 秋季関東大学女子3部バレーボールリーグ戦……………4位

軟式野球部

- 第3回 全日本大学軟式野球選抜大会 SUMMER CUP 2023…………… 出場

駅伝部



- 第100回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会……………9位
- 第100回東京箱根間往復大学駅伝競走…………… 総合19位

サッカー部



- 第97回関東大学サッカーリーグ戦3部…………… 10位
- 第37回関東大学女子サッカーリーグ戦2部……………9位

ゴルフ部



- 関東大学春季Bブロック対抗戦……………2位
- 関東大学秋季Bブロック対抗戦……………3位
- 関東女子大学春季Bブロック対抗戦……………2位
- 関東女子大学秋季Bブロック対抗戦……………2位
- 常陸宮杯第2回全日本大学ゴルフ選手権競技…………… 15位

パベル部

- 第50回全日本学生パワーリフティング選手権大会 石原綾大選手男子59kg級……………3位

授業が終わったら急いで
学連の活動にまっしぐら。

at the
イマ、
何してる？
Moment

みんな、授業以外の時間は
中央学院大学生のリアルな
キャンパスライフを伺いました。

people : 教えてくれたのは
安岡あき実さん
(関東第一高校出身)

法学部4年生。陸上競技が好き。駅伝部の魅力は、常連校で選手が入れ替わっても出場し続けているところ。



place : 外のベンチ

正門前広場

小 学生の頃から箱根駅伝を見ていました。特に常連校の中央学院大学をずっと応援していて、駅伝部のマネージャーになるかと思ってこの大学に入学しました。でも、残念ながら女子マネージャーは募集しておらず…。遂方に暮れていたときに、箱根駅伝を主催する関東学生陸上競技連盟や、インカレを運営する日本学生陸上競技連合の存在を知りました。それぞれの団体では、スタジアムの予約やプログラム作成といった準備から当日の運営まで、加盟校の学生メンバーが行います。私は日本学連を中心に両方で活動していたので、1年を通して休みがなく、平日は授業が終わり次第学連の事務局へ向かう毎日でした。

memo:



フィニッシュテープを持つ安岡さん。

「辛いのでやめます」が通用する団体ではない。「大学の看板を背負う覚悟が必要」など発破をかけていただきました。それが活動を続ける原動力になったので、心から感謝しています。授業と学連の活動の両立はハードでしたが、大会を無事に開催できたときや選手から「ありがとう」と言われたときの達成感には得がたいもの。2024年の箱根駅伝では往路のフィニッシュテープも担当させていただきます。今後は、この3年間で培った行動力やスキルを、仕事にいかしていきたいと考えています。

どうやって過ごしてる？

How to spend



1 授業

大学では、教室にいることが多かったです。早めに行き席を確保し、貴重な睡眠時間に充てていました。

2 ゼミ

国際情勢など学ぶ川久保文紀ゼミに所属しています。将来は、パラリーガルなど法律関係の職に就きたいと考えています。

3 空きコマ

空きコマは教室で休憩したり、友人と話したり。学生会館Via前のベンチで友人と一緒に見た夕日はきれいでした。